

全日中事務局だより

去る8月に各都道府県中学校長会役員の方々約200名が参加して全日中役員研修会が行われました。詳細は「中学校」10月号ですで紹介されております。

さて、役員研修会参加者にアンケート調査を行ったところ、次のような結果が出ました。

講演Ⅰの市川伸一講師による「学力と学習意欲を育てる環境づくり」については、「とてもよかった」、「よかった」との評価が90%強で、「教えて考えさせる」教育についての評価が高いという結果でした。また、講演Ⅱの有森裕子講師による「私のマラソン人生と次代を担う青少年への思い」については、回答者全員が「とてもよかった」又は「よかった」としています。

役員研修会での講演は、この数年来教育関係の講演と一般教養関係の講演

の二つで構成していますが、予算的制約の中で、全国の校長先生方に納得していただける講師を探すのは至難の技で、役員研修会終了後のアンケート結果を参考に、総務部が中心となり部長会のメンバーや各都道府県の理事様からも情報を得ながら次回回の講師を探しております。

役員研修会の後半部分は各地区からの情報提供による情報交換を行っています。この二年間は全日中教育ビジョンの10の提言に視点を置き、主題を設定しています。

今年、徳島県石井町高浦中学校長西條一之先生の情報交換Ⅰ 提言3 道徳教育 「しなやかな心をもち、ともに生きる力を育てる道徳教育」と、茨城県高萩市立君田中学校長 小林正治先生の情報交換Ⅱ 提言9 学校と家庭・地域社会 「保護者・地域と連携した、豊かな心をはぐくむ教育活動の推進」が提案されました。どちら

も」とても参考になった」、「参考になった」との回答が90%と高い評価を受けました。

役員研修会は、第2回理事会とセツトで計画されているため、新年度に入ってからあまり時間がない中で、実践に基づく情報交換の内容をまとめることは容易ではありません。異動で新しい学校に赴任された場合にはとりわけ難しいことと思います。発表者の先生方はそれを克服して、全国の校長先生に情報を提供して下さっております。そのことに、心から敬意を表します。

次年度以降、役員研修会がさらに豊かなものになり、その研修結果が現場で生かされることを期待しております。

第62回全日中研究協議会埼玉大会

去る10月27日・28日に行われた第62回全日中研究協議会埼玉大会は多くの成果をあげて終了することができました。埼玉中学校長会、関東甲信越地

区中学校長会の先生方を始め全国の校長先生方のご協力ご尽力に感謝します。

本研究大会では、全日中教育ビジョンに基づく「学校からの教育改革」の成果と課題に視点が当てられ、各地における教育改革の取組状況が明らかにされました。

全日中提案では、健全育成に視点を当て、Ⅰ課題とその背景 Ⅱ課題解決の方向性などについて調査分析結果に基づき発表が行われました。

この中で、全国の学校現場で多くの実践が積み重ねられているが、今後は以下について重点的に取り組む必要があることが報告されました。

①健全育成に向けた学校・家庭・地域社会の責任分担と連携強化
②行政の支援と教育委員会の取組の強化

③「心の教育」の充実
④体験的学習の推進

⑤社会の変化に対応した迅速・適切な指導等

○中間会計監査

11月25日(金) 9時30分
(全日中会館・3階会議室)

○臨時常任理事会

11月25日(金) 13時30分
(全日中会館・4階会議室)

一、報告 中間会計監査結果 他
二、協議

- (1)第62回全日中研究協議会埼玉大会
- (2)平成24年度総会関係
- (3)東日本大震災関係

○新春座談会

11月25日(金) 16時30分
(全日中会館・4階会議室)

テーマ 東日本大震災後の学校教育の振興と全日中教育ビジョンの実践
出席者 平林正吉文部科学省初等中

等教育局教育課程課長、大江近全日中会長、町田啓道副会長、菊地和郎副会長、竹田幸雄副会長、伊藤正夫副会長、岡利哉副会長、中佐博信副会長、岡三雅副会長、寺井雄一副会長
※ この座談会の記録は、「中学校」2月号に掲載されます。

義援金振込口座開設

去る8月29日に、東日本大震災被災3県(宮城、福島、岩手)中学校長会に各300万円を送金、9月13日に同じく各3千万を同3県に送金しました。

また、第2回理事会で義援金振込口座を開設し、継続的に被災県中学校長会(中学校)を支援することが決定しました。これに基づき、去る9月20日、りそな銀行虎ノ門支店に口座を開設いたしました。口座名「全日中義援金」口座番号「普」0076041

(事務局長 青柳 修治)